

内浦公民館だより

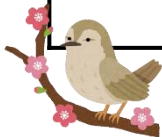
令和8年4月10日発行

(2026) <Vol.151>

Artfull

うちうら

[発行]
内浦公民館
〒919-2351
高浜町山中104-4-2
TEL.0770-76-2007
FAX.0770-76-2008
E-mail
uchiura_c.c@town.takahama.lg.jp



内浦公民館講座 3B体操教室(3回シリーズ最終日)



令和8年3月27日(金)

内浦公民館2階多目的ホールで3B体操を開催しました。講師は藤内幸子さん。前半は体の動きを教わった後、音楽に合わせて体操を行い、後半からは更に3つの道具(ベル・ボール・ベルト)を使って体操を行いました。感想を伺うと「日頃使っていない筋肉を使うから、なんだかスッキリして気持ちいい。」と体操する事の大切さを感じておられました。4月からは毎月1回開催します。興味を持たれた方はお気軽にお申込みください。

ランニング教室(4回シリーズ最終日)



令和8年3月28日(土)

内浦小中学校グラウンドでランニング教室を開催しました。講師は大西雄三さん。大人も子供も一緒に参加して、体をほぐしました。初めに基礎の走り方とウォーミングアップの方法、腕の振り方などを教わりました。教わった事を意識しながら、坂道ダッシュ。腕立て伏せの姿勢でジャンケンをするゲームなど楽しみながらいい汗を流しました。

- 開館時間 午前8時30分～午後10時
 - 利用時間 午前9時～午後9時30分 夜間利用が無い場合は午後5時で閉館いたします。
- <5月の休館日> 2日(土)～6日(水) ゴールデンウィーク期間
11日(月)・17日(日)・18日(月)・25日(月)

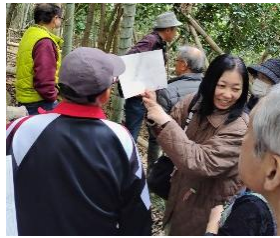


ぐる~っと内浦!

古墳時代の内浦を探ろう

令和8年3月29日(日)

内浦公民館1階会議室で、ぐる~っと内浦を開催しました。講師は鯨本眞友美さん。古墳時代の説明と、古墳の種類や副葬品の説明を受けました。その後、広瀬古墳群に向かい古墳を探しました。竹藪の中は竹が倒れていたり、足元の悪い所が多ありましたが、古墳らしい石を確認するたび歓声があがりました。資料を基に奥へと進み、最後に見つけた古墳は保存状態が良く、石室の様子がよくわかりました。



地域ニュース

3月15日(日) 第4回 青葉山トレイルマラソン開催されました!



出発前に記念撮影。県内外から集まった91名のランナーが赤ふん坊やと海上自衛隊舞鶴音楽隊の皆さんの演奏に見送られ内浦公民館を出発! 約20kmを走り終えた皆さんに特製豚汁とおにぎりをふるまった農家食堂しおかぜの皆さん。炊き出しを楽しみにされている皆さんの笑顔が印象的でした。



3月30日(月)内浦地区防災計画推進委員会総会・防災講演会



内浦公民館2階多目的ホールで開催されました。初めに令和7年度総会が行われ、事業実績と令和8年度の事業計画について、報告がありました。総会の後、舞鶴高専 加藤教授による防災講演会があり参加された皆さんが防災の意識を高められました。





今回は 五木寛之 著「大河の一滴 最終章」です。

1998年、約300万部発行した「大河の一滴」。その続編ともいえる最終章です。あれから27年、93歳を迎え、近年「咽頭ガン」に罹患しながらも執筆活動を続ける五木寛之氏の心の奥底にある思いや葛藤、人生観が語られています。

五木寛之氏は、昭和7年(1932年)に福岡県八女郡で生まれ、父母とも教員で、幼い五木はその仕事の都合で日本統治下の朝鮮半島へ渡り、全羅道や京城などを転々としながら少年期を過ごしました。父から古典の素読や剣道、詩吟を教え込まれ、その後の作家としての文学的感性の基盤となります。

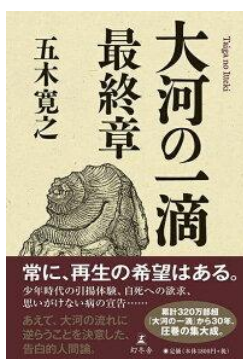
戦争が激化し、敗戦とともに一家は引き揚げ者として日本へ戻る途中、病に倒れた母に薬一服も与えられずに亡くし、帰国後、父も亡くなります。戦中戦後の混乱のただ中で少年期に体験した不安感や喪失感、後の彼の作品に共通する「弱さを抱えた人間へ共感」が根底にあります。

戦後、早稲田大学露文科に進むが中退し、歌謡曲の作詞家として活動したのち、1966年に『さらばモスクワ愚連隊』で小説家としてデビューし、翌年には『蒼ざめた馬を見よ』で直木賞を受賞し、反体制的でデラシネ(放浪的)な若者像を描いた作風は、当時の若い世代の圧倒的な支持を得ます。1970年代に『青春の門』の連載が始まり、その人気は社会現象となります。以後も長編小説からエッセイ、対談集まで幅広いジャンルで作品を発表し続け、1990年代以降は仏教思想、特に親鸞への関心を深め、『大河の一滴』をはじめとする人生論的エッセイが多くの読者に支持されてきました。高齢となった現在も、執筆や講演を続け、夜型の生活を貫き、健康法にこだわらず「自分の体質に合った生き方」を貫いています。戦争体験、引き揚げ、文学との出会い、そして長い作家人生を経て、彼は「迷いを抱えたまま生きる」という独自の人生観を語り続けています。

本書は「人生とは思うにままたらぬもの」という前提に立ち、苦悩や迷いを抱えたまま生きる人間の姿を見つめ直す内容であり、ブツダや親鸞の教えに触れながら、人間の弱さを認め、そこから「立ち上がる力」を探ろうとする姿勢が貫かれています。

「人は何かのために生きるのではない。誰かのために生きるのだ」という言葉は、長年語ってきた「他力」へのまなざしであり、親鸞の思想に通じる「自力ではどうにもならない世界を、他者との関係性の中で生きる」という視点が、人生の晩年に彼の辿り着いた人生観として語られています。

老いを克服する努力よりも老いを含めた人生そのものを肯定し、どうしようもない現実と折り合いをつけながら、それでも生きていく力を取りもどすことだと語ります。人生を大河の流れにたとえながらも、最終章ではその流れにただ身を任せるのではなく、ときには「逆らってもよいのだ」と語ります。これは、運命を受け入れるだけではなく、自らの意思で一步を踏み出すことの大切さをも説いています。そしてこれは、老いと向き合う私たちへの静かな励ましでもあります。



3月13日(金)確定申告スマホ教室を行いました！



内浦公民館開催
**確定申告
スマホ教室**
2024 3月13日(金)
10:00~16:00
参加費 無料

一緒に見ると
意外と簡単！
一人で覚えます
気軽に相談を！

会場
〒919-2351 高浜町会幸104-4-2
内浦公民館 1階 会議室

こんなことも学べます！
✓ 基本操作
✓ アプリの使い方
✓ QRコードの読み取り
✓ ログインのやり方

こんな方におすすめ
・申告方法をパソコン入力からスマホ入力に覚え
ようになりたい方
・スマホを覚える人がわからない方
・子どもに聞いても理解できずから来てほしい方

参加申し込みはこちらから(1階につき定員2人)
お電話：フォームでも可也！
☎0770-76-2007



*スマホで確定申告できる事は
知っているけど操作がわからない
*簡単にできるなら、教えてほしい

内浦公民館1階会議室で、スマホ教室を行いました。
確定申告に必要な書類や操作方法を分かりやすく教えて
頂きました。又、確定申告以外のスマホの操作についても
気軽に相談でき、好評でした。



参加者
募集中

内浦公民館講座のお知らせ

*4月11日(土) バドミントン講座
10:00~12:00 講師 今村文彦さん



古きものリメイク教室
13:30~15:30 講師 やまぼうしの会



*4月13日(月) 春のハイキング
9:00~12:00 行先 高浜町漁協



*4月21日(火) 元気あっぷ生き生き倶楽部
13:30~15:00



*4月22日(水) 麻雀教室
10:45~12:15 講師 石本祥次さん



*4月24日(金) 3B体操教室
14:00~15:00 講師 藤内幸子さん



*5月9日(土) バドミントン講座
10:00~12:00 講師 今村文彦さん

